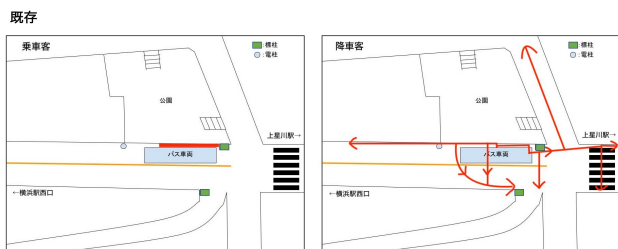
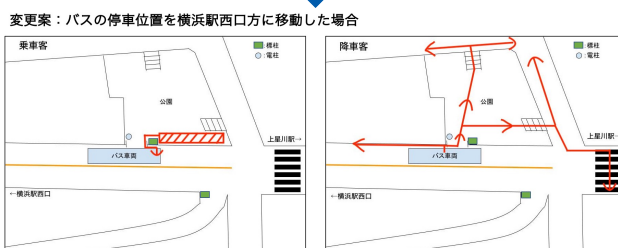


SSUI-yokohama PJ

Students' Society for Urban Issues



幅員の狭い大池道路の空間を利用した動線が形成されている



変更案：バスの停車位置を横浜駅西口方に移動した場合

この案の場合、バス停背後の電柱を移設する必要がある可能性がある。



学生が主体となり、横浜のまちづくりについて学び・考える

Students take the initiative in learning and thinking about urban development in Yokohama

SSUI-yokohama PJでは、「これからのまちづくりの主役は学生であり、そこに分野の制約があってはならない」という考えのもと、大学生・大学院生が大学や分野の枠を超えて集まり、横浜のまちづくりについて学生が主体となって考え、提案を行っている。課題発見から解決策の提案まで一貫して行うことで、講義や演習の中で十分に培うことのできないプランニングマインド感覚を身に着けることを目的としている。

本演習ではメンバー全員でテーマを創出し、そのテーマごとに班単位で活動を行っている。2021年度は、勉強会班、バス停班、地域活動班に分かれ、活動を行った。月2回程度Web会議や調査を行っている。3月には本活動の成果を地域の方などに披露するフォーラムを企画している。

- ・勉強会班：学術的なアンケートについて、実際に作成されている方を講師にお招きし、事例とともに、その作成方法を学ぶ機会を企画・運営した。
- ・バス停班：国交省より危険なバス停とされている「釜台住宅第一」を対象に、周辺の公園を活用した改善案を作成し、横浜市・相鉄バスに発表を行った。
- ・地域活動班：地域拠点「さくら茶屋」を活用したシェアオフィスの運用方法について、学生の立場として、意見や課題の創出などを行った。

今年度から地域課題実習に参加したPJであり、今年度は準備期間の部分が多くあった。来年度は、今年度の活動を引き続き行い、産学チャレンジプログラムへの参加など、まちづくりに関する活動をさらに積極的に行っていきたいと考えている。

■学生：13名（[横浜国立大学]池谷風馬，平原裕大，神田流空，木下友萌，岩崎羽衣，小田瞳，佐々木優菜，松崎蒼斗，三橋悠人，[東京都市大学]近藤翔太，永山佳樹，齊藤遥輝，杉田玲士 / 担当教員：尹 莊植

■連携・協力：横浜市都市整備局，LLPまちテラス，西柴シェアオフィス研究会

■活動地域：横浜市保土ヶ谷区常盤台，金沢区西柴

■サイト：<https://sites.google.com/ssui.info/ssui/home>